

顧者ヲ待ツトアルニ於テ人等不快ナル感想ヲ惹
起スルコト一層ニ可有之延ヒテ軍氣ノ振興如何ニ影
響スルコトナキ難保哉ニ候知致候以上固ヨリ廣
營業上ニ関リ何等ノ涉スベキ筋合ニモ無之候得共
捷後今日當該軍人ニ勿論他邦人ニ於テ見モ奇
異ノ念ヲ生スルコト少カラシ義ト被存候條傍此邊御
合上當時者ニ對リ懇篤ニ謝シテ一ラシ取直シモ
義ニ分論無之モ尤頭又ニ露店ニ暴露ト販
賣スル様ノト無之標御配慮相成度依命此致
及通牒候也

年月日

廳府縣長官宛

(東京府知事ヲ陸)

親展

警保局長

内務省 警保局長 七月十日 文書課長 關行 七月十日
明治卅九年七月六日 主査警務課長

大臣

次官

十

廳府縣長官ニ通牒候

警察官 於テ區裁判所 檢事 事務ヲ取扱
ハ件ニ関シテハ地方官會議ノ際 出シテ案モ有
之右ニ裁判所構成法ノ認ル所ニ於テ從來如
ク恰ニ常置ノ安リ以テ其事務ヲ取扱フニ於テ

警察事務上差支不尠依^テ當^ル者大臣ヨリ
司法大臣ニ對シ協議セシムル處各區裁判所
檢事官ニ悉ク檢事ヲ既^ニ増^スルニテ其ノ經費
ヲ要スルヲ以テ從未經費ノ許^ス範圍ニ於テ之ヲ
配置シ未^ルニシテ將^テ未豫算ノ增加ノ計畫ヲ
其ノ通過ノ曉^ニ相黨^ニ之措置ヲ執^ルル^ル日檢事
代理^ノ爲^ニ出張^ヲ命^スジ^ル場^合ニ於^テハ旅費其
他直接^ノ費用^ニニテモ可成^ク司法省^ノ經費ニテ
支辨^スル^ル構^造取^計可^ク致^スト^スト^ス決定^候條^爲
念^此段^依命^及通牒^候也

耳月日

警保局長

司法省職在第九二五號

本月十一日警甲第^三三歸^リ以^テ警務省^官ニテ
區裁判所^ノ檢事^々務^ヲ取^扱ハ^シル^件ニ^關シ^テ
照會^之趣^ヲ承^テ元^來各區裁判所^ノ檢事^々官^ノ
悉^ク檢事^々ヲ^配置^スル^ニテ^ハ額^ノ經費^ヲ要^スル^候故
從^テ未經費^ノ許^ス範圍^ニ於^テ檢事^々ヲ^配置^スル^ニ未^ル
候^得共^御來^示ノ^以第^三月^之將^來ニ^於テ^ハ豫算^ノ
增加^ノ計畫^相立^テ右^通過^之上^相當^之措置^ヲ
執^ルル^ル見^込有^之將^又旅費^其他^々費用^ニ
付^テハ^可成^ク費^意ニ^應ジ^ル採^取計^可致^候間
右^様御^了知^相成^度此^段及^回答^候也

明治三十九年六月二十九日
司法大臣 松田正久

内務大臣原 敬啟

[Blank area for the main body of the document]

内務省 第三二二号 判決 六月九日 文書課長 関行 六月十日

明治廿九年 五月廿八日 警保局長 加藤 查警務課長

大臣 原

次官 加藤

加藤

同地方官 見ニ基ク

司法大臣 照會 抄

警察官ニ於テ區裁判所檢事ノ事務ヲ取
扱フコトヲ得ルニ裁判所構成法ノ認ムル所
ナレトモ從來ノ如ク恰モ常置ノ次官ヲ以テ
官ヲシテ檢事ノ事務ヲ取扱ハレハハ畢者責
任ニ於テ

審各區裁判所檢察官の配置に
得る事情存せし儀に依り被存候然
帝國人の増加に益其歩を進
複雜愈々其度々高きに至り以テ
用務モ亦著レリ其端ヲ極ム此
改定審官ヲシテ其ノ本然ノ職
且其力ノ是ラサルヲ憂フニ
テ檢察官ノ事務ヲ取扱ハルル
ラス之カ爲ニ往テ警察事務ノ
未タス場合無之ニテ今因區裁
権限ヲ擴張セラルレバ之レハ
軍務ハ益々増加シ警察事務
響ヲ及ホシ候義ト被存候條此
際速ニ檢察官ノ配置ニ
審各區裁判所檢察官の配置に
得る事情存せし儀に依り被存候然
帝國人の増加に益其歩を進
複雜愈々其度々高きに至り以テ
用務モ亦著レリ其端ヲ極ム此
改定審官ヲシテ其ノ本然ノ職
且其力ノ是ラサルヲ憂フニ
テ檢察官ノ事務ヲ取扱ハルル
ラス之カ爲ニ往テ警察事務ノ
未タス場合無之ニテ今因區裁
権限ヲ擴張セラルレバ之レハ
軍務ハ益々増加シ警察事務
響ヲ及ホシ候義ト被存候條此
際速ニ檢察官ノ配置ニ

ノ配置ニ御配意の上從來如ク
改定シテ檢察官ノ事務ヲ取扱
ニ故障アリテ事務停止ムリ得
審官ヲシテ其事務ヲ從事セシ
廳府縣審査員數年來漸次節
務處辨上既ニ不足ヲ感ス折柄
テ以上ノ取扱ノ爲出張命セラ
ル派費如キ其他直接之ニ要ス
貴省ニ於テ又辨明シ候様係テ
ハレ度本件ノ際先般地方官會
方長官ヨリ申出シ次第有之候
御會ノ上可然御指置相成度此
候也

